



「なぜ、この周辺の道路で飛んでいるのか?」と不思議に思いました。さて、坂下の四つ角に見事なマテバシイの垣根があります。ひょっとしてそこにこのチヨウの幼虫がいるのでは?と思いました。以前、「このチヨウを採集するコツは幼虫が食べるマテバシイの樹を探すことです」と聞いたからです。初秋にその垣根をしばらく観察し

夏～秋に人通りの少ない、近所の舗装道路の坂を上ると黒いチョウが私の足元を追いかけるように飛んでいます。

坂を下る時も、四つ角の道路でも同じように飛んでいます。

道路すれすれに黒い小石を投げたようく飛んでいくので、ほとんどの人は気づかないと 思います。

しかし、ムラサキツバメが飛んでいるのです。

かずさの博物誌

ムラサキツバメ ～集団越冬する～

文・写真／成田篤彦
2016.11.20



▲ムラサキツバメのメス
マテバシイの新芽に止まる
=2007年9月11日 木更津市



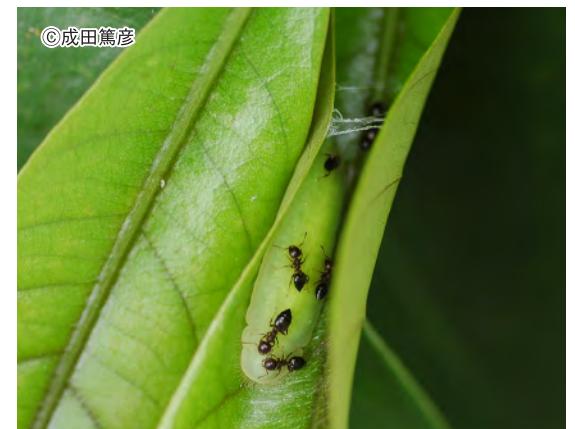
▲マテバシイの垣根 ムラサキツバメの幼虫の食樹

あちこちにありました
その筒を開くと中にムラサキツバメの幼虫が葉にへばりついていて、アリが集まっています。
アリは幼虫が出る甘露をなめに来て、このチヨウは十二月になると風雨のあたらない葉の上で、集団越冬します。しかし、一月中旬には集団はなくなり、別な場所で個々に越冬しています。
ムラサキツバメは房総では一九八六年にはじめて館山市で発見されま

©成田篤彦



▲ムラサキツバメの集団
=2005年12月24日 木更津市



▲ムラサキツバメの幼虫 アリが集まる

ムツサキツバメ
チョウ目ジジニア

ノユウ科

►ムラサキツバメのメス

►ムラサキツバメのメス
＝一〇〇八年十二月十二日
木更津市

►ムラサキツバメのオス
二〇一六年八月十一

一日
木更津市

その理由は暖冬になつたことと幼虫が食べるマテバシイの樹が公園や垣根に植えられていましたからです。バメは晩秋にバメは陽が当たる

参考文献 房総の草木中
千葉日報09九月二十日

魚70号

○写真・文章の無断転載を禁じます。